

実践論文がつなぐ研究と実践

公募論文募集のお知らせ

2022年8月に発達心理学研究の編集・審査方針が改正され、新たに「実践論文」という論文種別が新設されます。これにあたり、発達心理学研究第34巻第3号にて「実践論文」に関する臨時の特集を組むことになりました。「実践論文」は、保育・教育、心理臨床、療育・発達支援、高齢者福祉など、人の発達に関わる多様な領域での実践を研究論文の形で報告するものです。実践に携わる研究者はもとより、保育所、幼稚園、学校、病院、福祉施設などに所属する実践者の皆様も、積極的にご投稿ください。

(1) 企画趣旨

発達心理学研究では2022年8月より大幅な編集方針の改正を予定しています。その一環として、新たに「実践論文」という論文種別が設定されます。「実践論文」は、保育・教育、心理臨床、療育・発達支援、高齢者福祉、コンサルテーションなど、多様な領域での実践をともなう研究の報告であり、学術的な価値よりも実践的な価値を重視して審査を行うものです。

近年、医学領域から派生した「エビデンスに基づく実践」の理念が心理学領域にも広く普及し、実践上の意思決定を、経験や直感などの実践的専門性だけでなく、科学的な根拠に基づいて行うことが求められるようになってきました。世界的な状況を見ると、こうした理念の広がりが、心理学的実践の質を底上げするだけではなく、良質なエビデンスの蓄積を通して政策や社会の変化（例えば実践者の増員や処遇改善）にも寄与しています。

一方、国内では、2017年に心理職として初めての国家資格である公認心理師が誕生したものの、その実践を支えるのに十分な実証的知見の蓄積がなされてきたとは言い難い状況があります。本誌においても、実験、観察、質問紙調査などに基づく基礎研究の報告が大半を占めており、保育・教育や心理臨床などの実践に関する研究報告の数は多くありません。こうした状況を変えていくためには、本誌24巻の特集（実践現場における発達心理学の役割）でも議論されているように、研究者は実践を意識し、実践者は研究を志向するという相互の歩み寄りや協働が不可欠になると考えられます。

今回の「実践論文」の新設は、多様な領域での実践的研究の知見を報告できる場を設けることで、こうした研究者と実践者の相互交流と協働を促し、実践や政策に寄与するエビデンスの蓄積につなげることを企図したものです。本特集では、具体的な「実践論文」のイメージを学会員と共有するために、依頼論文として教育、臨床、発達支援、高齢者福祉などの多様な領域における実践研究を掲載します。これらの論文には、研究者によるもの、実践者によるもの、あるいは、両者の協働によるものが含まれます。

本特集では会員からの公募論文も募集します。発達に関わる問題意識や考察を含む実践の報告であれば、領域は問いません。統計的分析を含まない研究（質的研究など）であっても、十分に論理的・説得的な洞察が提示されていれば掲載に値します。研究者、実践者を問わず、幅広い層

の会員からの投稿をお待ちしています。

(2) 公募論文の募集要項

募集する論文の種別は「実践論文」です。保育・教育、心理臨床、療育・発達支援、高齢者福祉、コンサルテーションなど、多様な領域での実践のプロセスや効果について、論文の形式でご報告ください。分量は、原則として、刷り上がり 12 ページ以内です（理由書の添付により超過が認められる場合があります）。発達心理学研究の投稿規則 (https://www.jsdp.jp/contents/provisions_files/3-8kisoku_8.pdf) および「論文原稿作成のための手引き」(<https://www.jsdp.jp/contents/~cmhenshu/paper/files/tebiki20209.pdf>) に沿って原稿を作成し、電子投稿システム (<https://iap-jp.org/jsdp/journal/>) よりご投稿ください。なお、投稿に際しては、**添付票内および投稿論文内の論文題目の冒頭に「実践論文特集の公募論文」と必ず明記して下さい**。投稿された論文については、編集委員会にて所定の審査が行われ、掲載の可否が判定されます。

(3) 実践論文の書き方に関するチュートリアルセミナー

今回の「実践論文」の新設は、実践に携わる研究者だけでなく、保育所、幼稚園、学校、病院、福祉施設などの現場で働く実践者に、より積極的に論文を投稿していただくことを企図したものです。ただ、実践を主たる業務としている方々の中には、研究として論文をまとめることには慣れていない方も多いかもかもしれません。そこで、2022 年 6 月頃に、実践論文の書き方に関するチュートリアルセミナー（オンライン）を実施予定です。詳細は 4 月頃に学会ホームページおよびインターネットニュースにてお知らせいたします。

(4) スケジュール

- ◇ 公募論文の募集開始：2022 年 8 月
- ◇ チュートリアルセミナー：2022 年 6 月（予定）
- ◇ 原稿の提出締切：**2022 年 10 月 31 日**
- ◇ 原稿の審査：2022 年 11 月～2023 年 5 月頃
- ◇ 刊行：2023 年 9 月下旬

(5) 責任編集者

伊藤大幸（お茶の水女子大学）・片桐正敏（北海道教育大学）・田中善大（大阪樟蔭女子大学）・野村信威（明治学院大学）・原田新（岡山大学）・村山恭朗（金沢大学） <五十音順>